

スポーツ自転車の“ミライ”を提案！

CYCLE MODE international 2016 開催

最新のウェアラブルデバイスや自転車×ヴァーチャルリアリティ体験も！

サイクルモード実行委員会は、今年で12年目を迎える日本最大級のスポーツ自転車フェスティバル「CYCLE MODE international 2016」を11月4日から6日までの3日間、幕張メッセにて開催いたします。

スポーツ自転車の“ミライ”が見つかる！一歩先のサイクルライフを提案！

街中でふと周りを見渡せば、ロードバイクやクロスバイク、おしゃれな小径車に乗っている方を多く見かけるように、日常的な乗り物として普及が進んでいるスポーツ自転車は、サイクリングや旅先ライドをはじめ、遊びの幅が広がる素晴らしい乗り物です。今年のサイクルモードは、ロードバイクやクロスバイク、マウンテンバイクなどの完成車はもちろん、最新自転車アイテムが圧倒的なスケールで展示され、自転車の性能を存分に体験できる試乗コースを設置するなど、自転車の魅力が詰まった体験型スポーツバイクエンターテインメントショーです。



<未来はすぐそこ！？“魅せる展示エリア”にNewゾーンが続々！>

デジタルギア、セキュリティ、カスタムをテーマとした3つのチャレンジングなNEWゾーンを新設。ここではウェアラブル端末やバーチャルリアリティ機器など最新デジタルアイテムや海外で普及しているセキュリティ製品を数多く展示。また、ベストカスタムゾーンでは、旅スタイルやキャンプスタイル、レースや街乗りなど遊びのフィールドに合わせたカスタムバイクを展示することで、さらなる楽しさを求めるアクティブなユーザーを自転車が持つ魅力へと誘います。

<遊びの幅は無敵大！3つのトレンドフェアをさらに拡充！>

オススメのサイクリング旅を提案する「ジテンシャ×旅フェア」では、旅行先で出会った風景をカメラに収めるための写真術や、サイクリング先でおいしいコーヒーを楽しむ極意など、一味違ったセミナーを実施。また、クルマに自転車を積んで出かけようをテーマとした「シックスホイールスタイル」と共に、「e-BIKE EXPO」では日本初上陸のスポーツe-BIKEの展示や試乗など、新たなトレンドを発信する3つのフェアを実施いたします。

つきましては、貴媒体にてイベントの告知、掲載をご検討いただけると幸甚です。

自転車の“ミライ”を提案 会場でしか出会えない特別体験も

最新の自転車デジタル/ウェアラブル端末が集結 “デジタルギアゾーン”

スポーツ自転車には今や欠かすことのできないデジタル機器をはじめ、ライドをもっと快適にする最新ウェアラブル端末、そして室内にいながら海外のサイクリングコースを疑似体験できるヴァーチャルリアリティシステムなど、より便利により豊かに自転車を楽しむことができる時代が到来しています。

出展メーカーのrecon(代理店:美貴本)からは、サイクリストにとって必要な情報がサングラスを装着することで目視と確認ができるスマートアイウェア「Recon Jet」が出品されます。

また、ZWIFTからは、ネットワーク・ソーシャルコミュニティとの連動により、インドアサイクリングによるエクササイズをゲーム感覚で楽しむことができるシステムを紹介。このシステム内では、WEB上で全世界のZWIFTユーザーと競い合うことが可能です。



recon



ZWIFT

世界最先端の電動アシスト自転車が続々登場 “e-BIKE EXPO”

近年、e-BIKE=電動アシスト自転車は海外を中心に急速に進化を遂げており、航続性能の向上やバッテリー持続時間の延長はもとより、電動ユニット部とバッテリーの小型化が加速したことで、一目見ただけではe-BIKEだと判らないスタイリッシュな外観と機能性を併せ持ったモデルが多数登場しています。もちろん国内メーカーもスポーツe-BIKEの開発に力を入れており、あらゆるライドシーンに対応可能なアクティブな自転車に、サイクルモードの会場内で試乗いただくことが可能です。

さらに今回は、海外で注目を集めるe-BIKEブランド「ThinBike」と「AOI CYCLE」から、日本初上陸となる自転車が出品されます。



AOI CYCLES

ジテンシャ×○○ 3つのNEWトレンドフェア

旅先ライドの人气が急上昇！ “ジテンシャ×旅フェア”

自転車で旅する魅力を知ればもっとスポーツ自転車に乗って出掛けたい！日本国内のサイクリングロードや観光スポットのみならず、世界に広がる自転車の魅力的なフィールドを紹介する“ジテンシャ×旅フェア”。

最近ではキャンプのお供に自転車を持って出かけたり、旅の目的地まで自転車を送って置いて現地でサイクリングを楽しむなど、旅行先で自由にライドを楽しむスタイルが増えています。それでも自転車で旅に出るなんて、誰でも最初は不安なもの。本フェアでは「何を持って行けばいいの?」「突然のトラブルがこわい」など、初めは誰もが抱える疑問や不安を解消できるHOW TO 講座も開講します。



ジテンシャ=2輪×クルマ=4輪 “シックスホイールスタイル”

「クルマに自転車を積んで出かけよう！」をテーマとしたシックスホイールスタイルゾーン。クルマに愛車を積んでほんの数10km自宅から離れることで、これまで走ったことのないサイクリングコースや絶景ポイントに出会うことができ、スポーツ自転車のフィールドは無限に広がります。

車載用キャリアの選び方や実践方法を知ることができる自転車トランポ体験コーナーや、普段から自転車と共に全国を巡っているシックスホイールの達人たちのトークショーを通じて、クルマ×自転車のミックスタイルを提案します。



ジテンシャ×個性 “MY BIKE ベストカスタムゾーン”

自分にぴったりのマイバイクを作り上げてみませんか？

ロードバイクにこだわりのパーツを組み込むなど特殊な作業は自転車ショップに任せる必要がありますが、好みのカラーリングで自分だけの1台を手に入れることができることも自転車の魅力のひとつ。

サイクルモードでは「街乗り」「旅・キャンプ」「レース」「ミニベロ」といった異なるジャンルのコンセプトバイクを企画展示し、もっと自由に自転車を楽しむためのヒントを発信します。

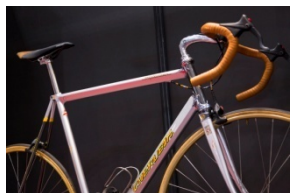


会場内コンテンツ

ハンドメイドバイシクルコレクション

自転車ファンの“憧れ”であり、日本が世界に誇るフレームビルダーが集結するハンドメイドバイシクルゾーン。

自分の好みと体格に合わせてオーダーメイドできる世界でたった1台という魅力に加え、ビルダーたちの個性と卓越した技術が注ぎ込まれたハンドメイドフレームは必見です。



アスリートワークショップ

より速く、より強くなりたいアスリート志向のサイクリストを対象に実施するセミナーです。どのスポーツでも重要な“体幹”を鍛えるトレーニングや、より速く走るための効率的なペダリング法、プロが行うボディケアなど、さらなるレベルアップを目指すレーサー達へ業界屈指の講師陣がその極意を伝授します。



チームキープレフト

チームキープレフトとは、サイクルモード事務局とNPO法人自転車活用推進研究会が共同で発足させた自転車に関わる交通ルール遵守およびマナーアップを目的とするプロジェクトです。自転車関連の識者やタレントと来場者との意見交換を目的としたトークセッションを実施。自転車に関する正しい交通ルールとマナー向上について情報を発信し、快適で安全な自転車社会の実現を目指します。



試乗前レッスンコーナー

「ロードバイクに乗りたけれどちょっと不安」そんなビギナーの方を対象に、プロショップのスタッフが、楽しく安全に乗るための基礎知識や、操作方法を基礎の基礎から、丁寧にレクチャーします。



インドアバイクトライアル

GARNEAU presents

インドアバイクインストラクター平野由香里による体験レッスン。音楽に合わせて固定式バイクを漕ぐという注目度急上昇中のトレーニング。自転車に乗る際のスタミナ、筋力、パワーを向上させたい方におすすめの体験コーナーです。



GARNEAU

プレゼントキャンペーン

WEBから応募いただくと、ロードバイクやクロスバイク、ヘルメット、ウェアなど、豪華景品があたるプレゼントキャンペーンを実施します。

※公式サイトで2016年10月～応募開始



CYCLE MODE international 2016 開催概要

- ◆日 時： 11月4日(金) 11:00～18:00 ※販売店関係者 9:30～ 優先入場
11月5日(土) 10:00～18:00 ※販売店関係者 9:30～ 優先入場
11月6日(日) 10:00～17:00
- ◆場 所： 幕張メッセ 1～4ホール
- ◆主 催： サイクルモード実行委員会(テレビ東京/テレビ大阪/テレビ大阪エクスプロ)
- ◆入場料： 【前売券】
(税込) 前売券 1,200円、女性券 1,000円、2日券 1,900円
【当日券】
当日券 1,600円、WEB当日券 1,400円

※中学生以下無料
※チームキープレフト会員は期間中フリーパス
- ◆お問い合わせ先： サイクルモード事務局 TEL：03-3239-3155 (平日11:00～18:00)
- ◆公式ウェブサイト： <http://www.cyclemode.net/>
- ◆後援： 経済産業省、国土交通省、千葉県、千葉市
(一財)自転車産業振興協会、(一財)日本自転車普及協会、(一社)自転車協会
(公財)日本自転車競技連盟、(公社)日本トリアスロン連合、日本マウンテンバイク協会
日本経済新聞社

★今後のご案内に関して

当日のコンテンツに関しては随時更新がございます。
更新情報につきましては、広報事務局よりあらためてリリースをさせていただきます。
またイベント当日のご取材に関しましては、別途案内状を送付いたします。
その際同送いたします取材依頼書にてお申し込みください。